

1. 科目名 (単位数)	更生保護 (2 単位)		3. 科目番号	SBMP4301 SSMP4101 PSMP4401								
2. 授業担当教員	濱島 幸彦											
4. 授業形態	講義、集団討議、学生との応答、途中確認テスト・小テストの併用、期末に試験を行う。		5. 開講学期	春期								
6. 履修条件・他科目との関係												
7. 講義概要	<p>犯罪や非行をした人の立ち直りを図り、再び犯罪や非行を起こさせないようにするには、その素質、環境を考慮しつつ、その人に必要な各種の支援、福祉という自立支援が必要である。これらの支援は、警察、検察、裁判、矯正の各段階で行われているが、本科目では、この内の社会の中での働きかけ(処遇)を中心とする更生保護制度について、その概要、担い手、関係機関・団体との連携、また、心神喪失等の状態で重大な犯罪を行った人の社会復帰の促進を目的とする医療観察制度の概要、さらには、更生保護制度の運用の実際と今後の展望等について学習する。</p>											
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 福祉との関連において必要とされる更生保護制度の基礎的知識について理解し、説明することができるようになる。 更生保護の組織を中心に、刑事司法・少年司法分野で犯罪前歴者等の支援活動に関与する組織、団体及び専門職について理解し、説明することができるようになる。 更生保護制度における関係機関・団体との連携のあり方について理解し、説明することができるようになる。 保護観察所が担う新たな役割として、福祉機関・団体などとの密接な連携の下に実施される被害者支援や医療観察制度について理解し、説明することができるようになる。 更生保護の運用の実際と今後の展望について考察し、自分の言葉で表明することができるようになる。 											
9. アサイメント(宿題)及びレポート課題	<p>中間レポート「刑事司法における更生保護制度について記述せよ」1,000字程度 期末レポート「更生保護制度の課題と対策について記述せよ」2,000字程度</p>											
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】松本 勝編『更生保護入門 第5版』成文堂、2019。 【参考書】清水義恵、若穂井透 編著『更生保護』ミネルヴァ書房。 藤本哲也、生島浩、竜野文理 編著『よくわかる更生保護』ミネルヴァ書房。</p>											
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準 1. レポートや論文の書き方に関する基礎的、基本的事項を理解し、説明できるか。 2. 分かりやすい表現方法や明瞭かつ論理的な文章を作成する力がついたか。</p> <p>○評定の方法 [授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。]</p> <table border="0"> <tr> <td>1 授業への積極的参加</td> <td>総合点の20%</td> </tr> <tr> <td>2 期末試験</td> <td>総合点の40%</td> </tr> <tr> <td>3 課題レポート</td> <td>総合点の20%</td> </tr> <tr> <td>4 日常の学習状況</td> <td>総合点の20%</td> </tr> </table>				1 授業への積極的参加	総合点の20%	2 期末試験	総合点の40%	3 課題レポート	総合点の20%	4 日常の学習状況	総合点の20%
1 授業への積極的参加	総合点の20%											
2 期末試験	総合点の40%											
3 課題レポート	総合点の20%											
4 日常の学習状況	総合点の20%											
12. 受講生へのメッセージ	<ol style="list-style-type: none"> 日頃から新聞・テレビなどのマスメディアに関心をよせ、社会事象である犯罪や非行問題について考える習慣を身につけてほしい。 全員で授業に集中し、積極的に発言してより充実した授業内容にして、レポート作成により学んだことを自分のものにしていく方向で取り組んでいきたい。 各講義の中で、社会福祉士国家試験過去問題(更生保護制度)に取り組む。 											
13. オフィスアワー	授業前後の休憩時間											
14. 授業展開及び授業内容												
講義日程	授業内容		学習課題									
第1回	オリエンテーション(講義概要の説明) 刑事司法における近年の動向と社会環境		事前学習	事前に送信する「犯罪の動向」、「刑事司法を取り巻く社会環境」を精読する。								
			事後学習	刑事司法における再犯防止の重要性について理解を深める。特に、高齢・障害出所者等における社会福祉士の役割について理解する。								
第2回	刑事司法		事前学習	事前に送信する「刑事司法」を精読する。								
			事後学習	刑事司法手続きのチャート図を理解する。刑事手続き、処遇の理解を深める。								
第3回	少年司法		事前学習	事前に送信する「少年司法」を精読する。								
			事後学習	少年司法手続きのチャート図を理解する。改正少年法(特定少年の区分設置)のポイントを理解する。								
第4回	更生保護制度Ⅰ 制度の概要		事前学習	テキスト及び事前に送信する「更生保護制度」を精読する。								
			事後学習	社会内処遇を担う、更生保護制度の概要をノートにまとめる。								

第5回	更生保護制度Ⅱ 更生保護制度の担い手	事前学習	テキスト及び事前に送信する「更生保護制度」を精読する。
		事後学習	保護観察官、保護司、更生保護施設、更生保護女性会、BBS会、協力雇用主の役割について理解する。中間レポートとして、「刑事司法における更生保護制度」についてまとめる。
第6回	更生保護制度Ⅲ 生活環境の調整・仮釈放	事前学習	テキスト及び事前に送信する「生活環境の調整・仮釈放」を精読する。
		事後学習	生活環境の調整、仮釈放についてノートにまとめる。
第7回	更生保護制度Ⅳ 保護観察Ⅰ 保護観察の種類・期間、指導監督・補導援護等	事前学習	テキスト及び事前に送信する「保護観察Ⅰ」を精読する。
		事後学習	保護観察における指導監督・補導援護をノートにまとめる。更生保護施設が抱える問題を理解する。
第8回	更生保護制度Ⅴ 保護観察Ⅱ 遵守事項、良好・不良措置	事前学習	テキスト及び事前に送信する「保護観察Ⅱ」を精読する。
		事後学習	遵守事項の内容をノートにまとめる。事例を通じて、良好・不良措置を理解する。
第9回	更生保護制度Ⅵ 保護観察Ⅲ 専門的処遇プログラム、段階別処遇等	事前学習	テキスト及び事前に送信する「保護観察Ⅲ」を精読する。
		事後学習	保護観察の処遇方法の特色についてノートにまとめる。
第10回	更生保護制度Ⅶ 更生緊急保護、関係機関・団体との連携	事前学習	テキスト「社会内処遇における多機関連携」及び事前に送信する「更生緊急保護」を精読する。
		事後学習	更生緊急保護の内容についてノートにまとめる。社会内処遇における福祉を含めた多機関連携について理解する。
第11回	更生保護の課題 更生保護の課題と対策	事前学習	事前に送信する「更生保護の課題と対策」を精読する。
		事後学習	期末レポートとして「更生保護制度の課題と対策」についてまとめる。
第12回	犯罪予防活動、恩赦制度、医療観察制度の概要 医療観察法に基づく処遇制度の創設、生境の調査、生活環境の調整、精神保健観察	事前学習	テキスト及び事前に送信する「犯罪予防活動・恩赦」、「医療観察制度」を精読する。
		事後学習	自身が生活する地域での社会を明るくする運動に関する情報を収集する。恩赦制度及び医療観察制度の意義についてノートにまとめる。
第13回	医療観察制度の概要 医療観察法に基づく処遇制度の創設、生活環境の調査、生活環境の調整、精神保健観察	事前学習	テキスト及び事前に送信する「医療観察制度」を精読する。
		事後学習	事例を通じて社会復帰調整官の役割及び精神科医療機関等との連携の重要性を理解する。
第14回	犯罪被害者支援	事前学習	テキスト及び事前に送信する「犯罪被害者支援」を精読する。
		事後学習	犯罪被害者対策の概要をノートにまとめる。更生保護における犯罪被害者支援について理解する。
第15回	まとめ	事前学習	これまでの講義での疑問点等を抽出する。
		事後学習	更生保護へ関心を持ち続けるための工夫をまとめる。